

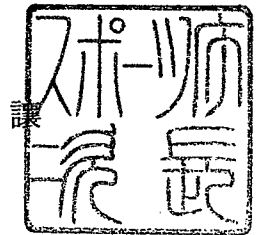
30ス庁第166号

平成30年6月7日

関係都道府県知事
各都道府県教育委員会教育長
各指定都市教育委員会教育長
関係各国公立大学長
放送大学長 殿
関係各国公立高等専門学校長
公益社団法人日本山岳ガイド協会長
関係各旅行業協会長

スポーツ庁次長

今里



(印影印刷)

平成30年度全国山岳遭難対策協議会について（依頼）

標記の協議会を、別紙要項のとおり開催します。

については、関係者の参加についてよろしくお取り計らい願います。

【担当】

スポーツ庁健康スポーツ課

伊藤 洋平

03-6734-3939

平成 30 年 6 月 7 日

平成 30 年度 全国山岳遭難対策協議会開催要項

1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

2 主 催

スポーツ庁、環境省、警察庁、気象庁、消防庁、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所、山岳遭難対策中央協議会

3 期 日 平成 30 年 7 月 11 日 (水)

4 会 場 文部科学省 3階講堂

〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2

電 話 03-5253-4111 [内線 2686]

FAX 03-6734-3792

5 参加者 350名程度

- (1) 各都道府県教育委員会の関係者
- (2) 高等学校登山部(山岳部)、高等専門学校山岳部、大学山岳部の関係者(顧問、監督、コーチ等)
- (3) 各都道府県山岳遭難救助組織(都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等)の関係者、各都道府県山岳連盟(協会)の関係者の関係者
- (4) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者
- (5) その他山岳団体関係者

※参加希望者多数の場合は各主催団体において調整することとする

枠配分(目安)

	講師	主催者事務局	環境省	警察庁	消防庁	日山協	報道	スポ庁他
30年	6	20	10	60	150	45	4	55
※昨年	6	10	5	50	100	35	4	40

6 内容

9:30 ~	受付	
10:00 ~10:10	開会式	
10:15 ~10:55 (40分)	報告Ⅰ	「多数遭難者が発生した山岳救助活動」 東京消防庁 奥多摩消防署 副署長 室井 修氏
10:55 ~11:25 (30分)	報告Ⅱ	「平成29年における山岳遭難の概況」 警察庁生活安全局地域課課長補佐 脇山 義人氏
11:25 ~12:10 (45分)	講演	「ココヘリ概要と遭難者発見実例」 AUTHENTIC JAPAN (株) 代表 久我 一総氏
12:10 ~13:15 (65分)	昼休憩	
13:15~16:55 (190分)	実現可能な遭難対策 ~ワークショップ形式による検討~	
13:15 ~14:15 (60分)	講義	「登山界の現状と遭難事故」 ・登山界の現状 登山のレジャー化、未組織登山者の増加、外国人登山者の増加、トレイルランニングやバックカントリースキー等のジャンルの細分化 等々 ・遭難事故の詳細な分析 疫学的方法による事故の間接的な要因の分析 等々 講師：静岡大学教授 村越 真氏
14:15 ~14:25 (10分)	質問	Question 1 a ・あなたが担当するエリアの遭難事故の特徴は？ 参加者各自が検討してワークシートに記載する。 (※以下、同じ) Question 1 b ・その背後にあると思われる山域・登山者の特徴は？
14:25 ~14:55 (30分)	発表	「遭難対策好事例の発表」 参加者から遭難対策好事例を発表してもらう。 発表者：参加者の内3~6名程 (※自席で口頭発表。対象者は事前に依頼。)
14:55 ~15:05 (10分)	質問	Question 2 ・上記「Q1」、「好事例」を踏まえて、あなたが担当する山域で実施すべき遭難対策は？ Question 3 ・上記、遭難対策を実現する過程で生じる問題は？
15:05 ~15:15 (10分)	小休憩	
15:15 ~16:30 (75分)	講演	「北海道警察山岳遭難救助隊の取組みについて (案)」 ・遭難対策、遭難救助のための体制強化に関する苦勞と

		成功体験について 等々 講演者：旭川東警察署地域官兼地域課長 村上 富一氏
16:30 ~16:40 (10分)	質問	Question 4 ・上記講演を受けて「Q3」の問題解決のヒントは？ 組織運営上の困難に直面した時にどのように乗り越えるか？どのようなテクニックが必要か？どれくらいの覚悟が必要か？ 等々 ・まとめ
16:40 ~16:55 (15分)	発表	参加者3名程度からまとめを発表
16:55 ~17:05	閉会式	

※当日 8:30~9:30 及び 12:15 ~13:15 に講師・事務局による準備打合せ

※17:05~18:00 撤収作業

※講演者・内容は変更となる可能性もあります

7 申し込み

別紙様式に必要事項を記入の上、平成30年6月20日(水)までに、所属別に下記の関係省庁・団体等へ申し込むこと。

	所 属	申込先FAX	担 当 所 属	担当者
1	警察庁関係者	03-3580-3014	警察庁 生活安全局 地域課	傍嶋 良直
2	環境省関係者	03-3595-1716	環境省 自然環境局 国立公園課	宮森 由美子
3	気象庁関係者	03-3211-2032	気象庁 総務部 企画課	橋本 祐樹
4	消防庁関係者	03-5253-7576	消防庁 国民保護・防災部参事官付	松浦 知哉
5	山岳団体関係者	03-3481-2395	公益社団法人日本山岳・スポーツク ライミング協会	廣川 厚子
6	1~5以外	03-6734-3792	スポーツ庁 健康スポーツ課	伊藤 洋平

平成30年度全国山岳遭難対策協議会(H30年7月11日)申込書

フリガナ 参加者氏名		所属先・勤務先		連絡先	
例	モンカ タロウ 文科 太郎	所属先 スポーツ庁健康スポーツ課	住所 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2	TEL 03-5253-XXXX	
		役職 〇〇	E-MAIL xxx_xxx@xxxx.go.jp	FAX 03-6734-XXXX	
1		所属先	住所 〒	TEL	
		役職	E-MAIL	FAX	
2		所属先	住所 〒	TEL	
		役職	E-MAIL	FAX	
3		所属先	住所 〒	TEL	
		役職	E-MAIL	FAX	
4		所属先	住所 〒	TEL	
		役職	E-MAIL	FAX	
5		所属先	住所 〒	TEL	
		役職	E-MAIL	FAX	

※FAXにてお申込みください。
 ※参加の可否は申込締切日以降に事務局より連絡させていただきます。
 ※宿泊の御準備は各自でお願いいたします。
 ※会場内は飲食ができませんので、昼食についてはお近くのレストラン等をご利用下さい。

申込締切日：平成30年6月20日(水) FAX送信先：開催要項参照